

# 山行報告書

作成: 年月日

愛知岳連 岡崎山岳会

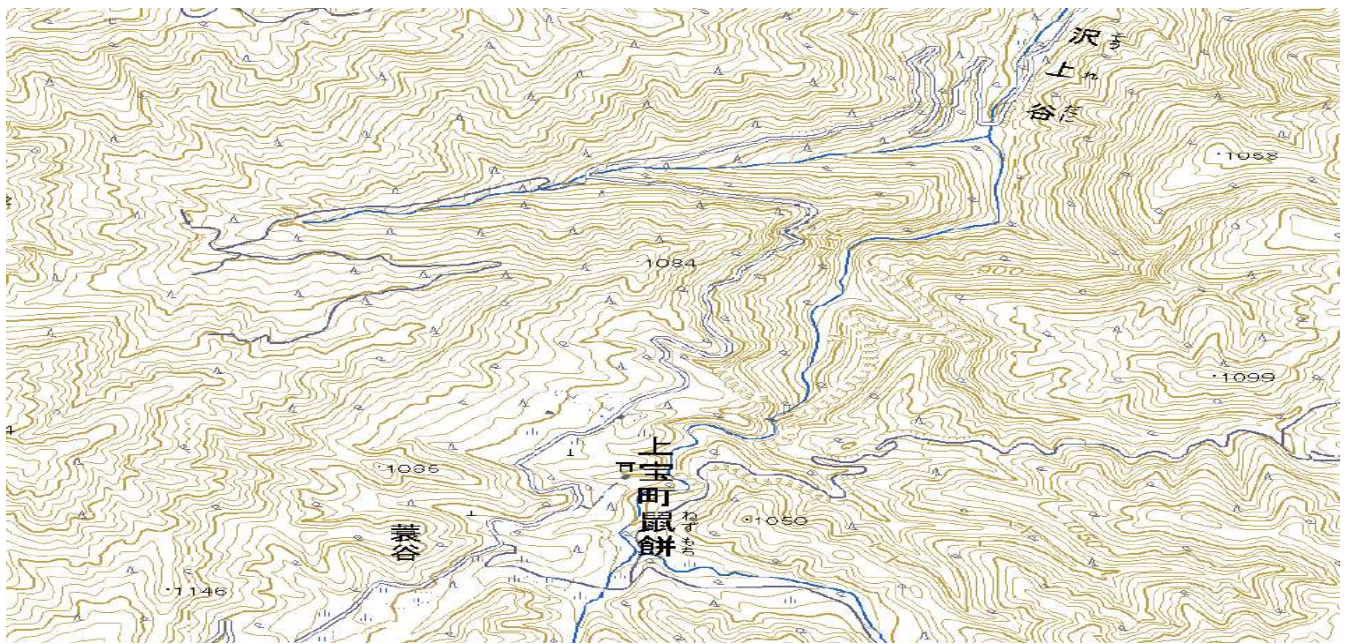
山名[山域]	沢上谷(沢登)・焼岳	目的[方法]	沢登&登山
期間	7/26・27	形態	
参加人数		4人	

行動記録: 7/25 河合公園 2000 = 豊田東IC 2030 = 飛騨清美IC 2430 = 道の駅アルプ飛騨古川 0130,0230

7/26 アルプ飛騨古川 0600,0700 = 沢上谷入渓点 0800,0830 - 五郎七郎滝 0900 - 岩洞滝 1000,1030 - 蓑谷大滝 1110,1130 - 蓑谷大滝上部 1250,1300 - 遊行終了点 1330,1400 = 入渓点 1420 = 平湯温泉神ノ湯 1600,1700 = 焼岳(中の湯)登山口 1730,1930

7/27 登山口 0400,0510 - 休憩 0620,0630 - 中の湯・釜トンネル分岐 0650 - 焼岳山頂 0750,0820 - 中の湯・釜トンネル分岐 0920 - 登山口 1030 = 坂巻温泉 1100,1200 = 水車屋?(そば屋) 1300,1400 = 河合公園 1700

概念図:



日誌: 7/25・26 高速の深夜料金利用するためのんびり出発。映画鑑賞しながらあつという間に高山へ。軽めに宴会をして翌日に備える。  
快晴の下、念願の沢上谷に入渓 出だしは普通の沢登りが続くが、五郎七郎滝に向かう支流辺りから川床が一枚岩?のナメ床になる。どうい変遷を経て川になったのかはわからないが理屈ぬきに素晴らしい川。五郎七郎滝はまるで糸を引いた様な二条のナメ滝 今までに出会ったことない滝だ。本流に戻り岩洞滝に向かう。こちらの滝は垂直の壁に囲まれた25メートルの直瀑 迫力満点! 再び本流に戻り進むと真っ白の30㍍はあろう素晴らしいナメ滝 超〜〜うっとり  
蓑谷大滝を高巻き再び沢床へ そこからは延々と続くナメ床 何度も言うが・・・本当にすばらしい!

い!

存分にナメを楽しみ終了地点に。 通常車一台のため入渓点まで2時間程の歩行になるが、運良く? 沢登をしていた夫婦にらせて頂き20分程で入渓点へ ラッキー~~~~  
平湯温泉の神ノ湯でまったり入浴をすましたところでバツリとN崎さんと遭遇! ビックリ!!  
安房峠を越え焼岳登山口でテント泊

7/27 予定より早めに出発。朝焼けの穂高がかっこいい!  
3時間かからず焼岳山頂に到着 気楽に登れる百名山だな~  
天気予報では快晴だったが山頂はガスの中 > < 残念ながら展望が利かない.....  
軽めの休憩をとって早々に下山。  
19号線沿いの水車屋?でおろしそばを食したが、かなりおもしろかった!

感想: 文章では書ききれないほど素敵なところだった。危険なポイントもほとんどないので、皆様も是非行って見て下さい  
行かなければわからない景色が待っています!